

京都府立大学学生と行政との 「食品の安全に関する意見交換会」の開催結果

10月19日(金)内閣府食品安全委員会との共催で食品の安全をテーマに、京都府立大学の学生28名(管理栄養士を目指す学生)との意見交換会を開催しました。

意見交換会では、「食品安全の基本とカフェインの安全性について」食品安全委員会事務局から情報提供があり、その後、グループワークを行いました。グループワークでは、「食品安全の基本」や「カフェインの安全性」について、どうやって周りの人たちに伝えていくか、活発な意見交換を行い、「若い人に伝えるにはSNS等の広告や動画による情報提供が有効では」「カフェインの1日あたりの摂取基準を知ることから始めれば」などの意見が出されました。

今後も食に関心が薄い大学生など若い世代との意見交換会等を実施していきます。

記

■日 時：平成30年10月19日(金) 13時00分～15時45分

■場 所：京都府立大学稲盛記念会館2階会議室

■参加者：京都府立大学生命環境学部食保健学科 28名

■話題提供「食品安全の基本とカフェインの安全性について」

講師：食品安全委員会事務局 リスクコミュニケーション官 渡辺且之氏

■フィッシュボウル形式による意見交換

※フィッシュボウル(金魚鉢)方式：グループが二重の円座になって、内側の円座の意見交換を外側の円座の人が要点や気付きを記録していき、時間が来たら役割を交代する意見交換の方式

【アンケート集計結果】

・食品安全委員会事務局の話題提供の内容は理解できた

①大変そう思う 42.9% ②そう思う 53.6%

③あまりそう思わない 3.6%

④そう思わない 0% ⑤わからない 0%

・本日の意見交換会で食品安全についての理解が進んだと思う

①大変そう思う 42.9% ②そう思う 57.1%

③あまりそう思わない 0% ④そう思わない 0% ⑤分からない 0% 【意見交換の様子】



【参加者のアンケートから】

・カフェインはよくとる方で知らないことがたくさんあったので、知ることができて良かったです。こういう機会をより多くの方がもつべき。

・知らないことも多く、カフェインの過剰摂取のリスクなど理解が深まって良かった。

・食品安全について正しい情報も知ることができ、他の人の意見も知ることができて良かったです。